

5月4・5日

### 満足度ランキング1位を記念して道の駅摩周温泉で大感謝祭



抽選会場には長蛇の列が

道の駅満足度ランキングで1位を獲得した道の駅摩周温泉で5月4・5の両日、記念の大感謝祭が行われました。

大感謝祭では、500

円以上の買い物をされた方を対象に、川湯温泉の宿泊券や地元の特産品などが当たる大抽選会を開催。厚岸産のカキやアサリを格安で販売する「ほっこり海鮮まつり」も同時開催され、多くの観光客の方などにぎわいました。また、5月2～6日には地元特産品販売会も行われ、地場産の野菜や摩周パークを使ったおにぎりなどが人気を集めました。

5月1～31日

### 田村英雄さんがとらえたヤマセミの姿いきと川湯エコミュージアムセンターで野鳥写真展



数々の写真に見入る来場者

川湯エコミュージアムセンターの2階ギャラリーで5月1日～31日、釧路市在住のアマチュアカメラマン・田村英雄さんの写真展「溪流に舞う～ヤマセミの四季～」が行われました。

ヤマセミがウグイやヤマメを捕える瞬間を写したものと28点を展示。特徴の一つである、白黒細かきまだら模様をした羽根を大きく広げている姿を取めた写真もありました。訪れた方たちは、ヤマセミとカワセミと一緒に写っている写真を見てヤマセミの大きさに驚いたり、四季折々の自然の中で過ごす様子に興味深く見入ったりしていました。

4月14日

### 火遊びは絶対にしないでね川湯防火管理協議会が子どもたちにプレゼント



児童に文房具を手渡す小泉会長左

川湯防火管理協議会(小泉裕会長)では4月14日、川湯小学校の1年生に消火器型の液体のりと鉛筆削りのセット、川湯保育園児には救急車のお話などの絵本を贈りました。

春の火災予防運動に合わせて、毎年行っています。「火の用心」と書かれたポケットティッシュも配布し、子どもたちに火災予防を呼びかけました。子どもたちはプレゼントを受け取ると「火遊びは絶対にしません」と約束しました。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

5月10日

### アイヌとシマフクロウの関わりなどに理解を深めてチームくっしやろが講座を開催



参加者に大人気の「ちび」

チームくっしやろ(斎藤敬子代表)主催のくっしやろ講座第1回「コタン コロカムイ(集落の守り神 シマフクロウ)が教えてくれること」が5月10日、屈斜路ウオーターズスポーツ交流公園で行われました。

同会は4月設立の地域活動団体。屈斜路湖周辺の歴史・文化の収集・発信、屈斜路湖の環境保護などを行っています。講座はアイヌの文化や自然環境などを知ってほしいと開催。アイヌの人たちに位の高い神とされたシマフクロウについて説明しました。また、猛禽(もうきん)類医学研究所の渡辺有希子副代表が、シマフクロウ親善大使「ちび」を伴って希少猛禽類の現況について話し、参加者の皆さんが聴き入っていました。

5月9日

### 絵本の登場人物のお絵描きもおはなしはらっぱスペシャル



もったいないばあさん上手に描けるかな

おはなしはらっぱスペシャルが5月9日、図書館で開催されました。

毎週土曜日に開催されている「絵本の会 おはなしはらっぱ」(笹島久美会長)の皆さんによる読み聞かせの拡大版で、毎年開催されています。約40人が参加し、絵本4冊の読み聞かせの後、人気の絵本「もったいないばあさん」の顔を絵描き歌に合わせて描きました。また、同絵本の「もったいない音頭」をみんなで踊り、いろいろな角度から絵本の世界を楽しみました。

4月17日

### 思いやりと助け合いの輪を広げよう自治会連合会が定期総会開催



議事の様子

弟子屈町自治会連合会(寺岡清敏会長)の平成27年度定期総会が4月17日、町公民館で開催されました。

総会には約40人が出席。平成26年度の事業・収支決算報告や、27年度の事業計画案・収支予算案の承認、役員の変更が行われました。同連合会の今年度の推進事業テーマは「思いやりと助け合いの輪を広げよう」。寺岡会長は「地域コミュニティが希薄化する中、自治会が担う役割は大きい」と話し、活動を通して地域のつながりを深めていきたいとしています。

4月17日

### 安全・安心なまちにしたい交通安全運動推進協議会の定期総会



より一層交通安全運動を進めるため

弟子屈町交通安全運動推進協議会(会長・徳永町長)の平成27年度定期総会が4月17日、町公民館で開催されました。

総会には約60人が出席。平成26年度の事業・収支決算報告や、27年度の事業計画案・収支予算案の承認が行われました。また、来賓の立山登弟子屈警察署長からは、町内の交通事故などの情勢について説明がありました。会長の徳永町長は「町内交通死亡事故ゼロの継続を目指していきたい」と話し、出席者は気持ちを新たにしていたようでした。

5月16日

### 多くの具体的な相談に手応え～北海道へ～本気の移住相談会



移住に関する疑問には対応

NPO法人住んでみたい北海道推進会議主催の「～北海道へ～本気の移住相談会」が5月16日、東京都で開催され、本町も参加しました。

北海道への移住を真剣に検討している方を対象に初めて開催されたもので、本町ほか千歳市など道内9市町が参加。本町のブースでは移住アドバイザー(21ページ参照)と町職員が対応し、30～40代の方を中心に21組が相談に訪れました。相談内容は雇用や子育てについてなどが多く、移住後の生活を具体的に考えていることがうかがえました。今後は相談者との結びつきを深め、移住実現に向け働きかけていきます。

5月15日

### ふるさとの良さを再認識春のツアーで名木を観光



名木に見入る参加者

町が指定した名木を巡るツアーが、5月15日に開催されました。

名木は、地域の象徴とされているものや歴史的価値があるもの、景勝上優れているものなどを2006年に指定。ツアーは2007年から春と秋の年2回開催され、春は桜を中心に行われています。今回は根釧西部森林管理署との共催で、釧路市などから20人が参加。名木の選考委員長を務めた須田文男さんの説明を聞きながら見学し、名木の見事な姿に見入っていました。

4月25日

### 放水技術の向上ときれいな街並みを目指して川湯消防団川湯支署が道路で放水訓練



日頃の訓練の成果を發揮して

釧路北部消防事務組合川湯消防団(濱岡正次団長)と川湯消防支署(村山和也支署長)では4月25日、毎年恒例の放水訓練を行いました。

消防職団員の放水技術の向上と、観光シーズンの到来に合わせて雪解け後に残ったごみなどを洗い流し、川湯温泉街をきれいにする目的で実施されています。今年は28人が参加。ホースを巧みに操り、道路にたまった枯葉などをきれいに洗い流しました。職団員は、きれいになっていく道路と街並みに、川湯温泉街の火の用心と防災の誓いを新たにしていました。

4月24日

### 安全意識を持って正しく使用をドローンの初心者講習会を開催



デモ飛行に見入る参加者

(株)エアステージ(久保直人代表取締役)主催の小型無人空撮機(ドローン)無料初心者講習会が4月24日、摩周観光文化センターで開催されました。

ドローンは遠隔操作型の小型空撮用ヘリコプターで、災害や工事の現場などで需要が高まっています。講習会は、正しく安全に使用してほしいと開催されたもので、町内外の土木・建築業関係者の方など約80人が参加。機種・機能や操作方法、関係法規などについて説明を受けた後、実際に飛行を見学。希望者には操作の体験も行われました。